

ゼビオホールディングス株式会社 XEBIO Holdings Co., Ltd.

郡山本社

〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35
3-7-35 Asahi, Koriyama, Fukushima 963-8024, Japan
URL <http://www.xebio.co.jp/>

東京オフィス

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14F
Nishikicho Trad Square 14F, 3-20 Kanda-nishikicho,
Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054, Japan

免責事項・見直しに関する注意事項

このレポートは、2022年3月期の実績及び2022年4月からこのレポート発行日までの活動内容に基づき、ゼビオホールディングス株式会社及びその子会社、関連会社に関する情報を掲載しています。本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。従って、実際の業績は経営環境等の変化に伴い、見直しと異なる可能性があることをご留意ください。また、この内容は投資判断の参考になる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。

2022年3月期

For the year ended March 31, 2022

CORPORATE PROFILE

こころを動かすスポーツ。



企業理念

公正な競争原理のもと、良質な人材、資金、組織を作り
〈お客様第一主義〉にもとづいた事業活動を通じて、社会貢献を果たしていくこと

経営の基本方針

- 一、量的指標ではなく、質的指標としての数値目標を設定します
- 一、ナンバーワンではなく、オンリーワン企業として事業の質的拡大を図ります
- 一、株主様、お客様、お取引先様、従業員、地域社会それぞれにオンリーワンとして認識していただける企業を目指します

「量から質への経営」へ さらなる加速を目指して



社名の由来

XECHORISTOS + **BIO**s
(個性的な) (生活)

私たちは、'XEBIO'のXから限りなく伸びるアンテナで時代に感应し、時代を読み、時代を創る個性集団として、次なる時代を牽引しつづけていきたいと考えます。

社名XEBIOには、当社の社会的使命をこめ、社会に向かって発する宣言から由来します。XEBIOの語源は、すべての現代語の根幹とされるギリシア語を組み合わせて創造されたもので、分解すると上記のようになります。

CONTENTS

03 グループステートメント
XEBIO Group Statement

17 中核会社概要
XEBIO Group Core Companies

05 成長戦略
Growth Strategy

18 経営体制
Management Structure
of XEBIO Holdings Co., Ltd.

07 事業ビジョン
Business Vision

19 成長の軌跡
Growth History

11 グループ中期経営計画
Group Mid-term Strategy

20 店舗一覧
Store Information

13 CSR活動の紹介
CSR Activities

21 IR情報
IR Information

15 コーポレートガバナンス
Corporate Governance

25 トップメッセージ
Message from the President

Corporate Philosophy

Under the principle of fair competition, XEBIO Group will strive to contribute to society through its business operations based on the "Customer First Standard" by securing qualified human resources, financing and structuring of the company.

こころを動かすスポーツ。

スポーツに感動できるひとが
たくさん住んでいる国は明るい国です。

スポーツの観戦で思うことがあります。

競技場を揺るがすほどの人間の渦の中で、これほどのひとが一体となり

歓び、驚き、悲しみ、悔しがり、涙するような気持ちを共有することが、

ほかにどれほどあるのだろうか。

生まれも育ちもちがう こんなに多くのひとと 気持ちをひとつにできるのはなぜか。

その芽は、初めてスポーツをした頃から 生まれているのではないか。

できなかったことが初めてできた、自己ベストの瞬間。

勝利を掴んだ一瞬。

届かなかった一瞬。

ひとつひとつの大切な時間を積み重ねて、

こころが感動することを覚えていく、おおきく豊かに育っていく。

スポーツに感動できるひとがたくさん住む国の未来は明るい、わたしたちは信じています。

こころを動かす体験をひとつでもたくさん、あなたに。

ゼビオグループ、すべての人間の仕事です。

We believe a country filled with people who value sports is a country filled with a bright future.

One of the phrases we wish to spread is "Sports that Move the Heart." We believe that by providing the thrills and dreams of sports to people, we can build a bright future filled with hope.

THE SUPER XEBIO
SPORTS

NEXAS
ネクサス by Takeda Sports

Victoria

XEBIO SPORTS
EXPRESS

Takeda Sports

L-Breath
feel the earth, open-air sports

Victoria Golf

GOLF PARTNER

XEBIO GROUP
ゼビオグループ

ゼビオグループが「広く伝えたいもの」のひとつに
“こころを動かすスポーツ”というステートメントが
あります。スポーツが持つ「夢」や「感動」を次世代に
お伝えしていく事が、希望に満ちた明るい未来を
構築すると考えているからです。スポーツの魅力と
可能性を最大限に引き出し、伝え、表現し、発信し、
それらをビジネスとしての価値に変えていきます。
そしてスポーツ業界のビジネスモデルを変革し、
スポーツのビジネスとしての価値を最大化していき
ます。その結果、スポーツの持続的発展に寄与し、
地域社会への貢献、そして、身近にスポーツがある
健康的で充実した豊かな人生のお手伝いをします。

地域に根ざす

スポーツとの接点を増やす

ビジネスモデルの差別化

新しいスポーツビジネスのありかた

ゼビオグループの目指すところ

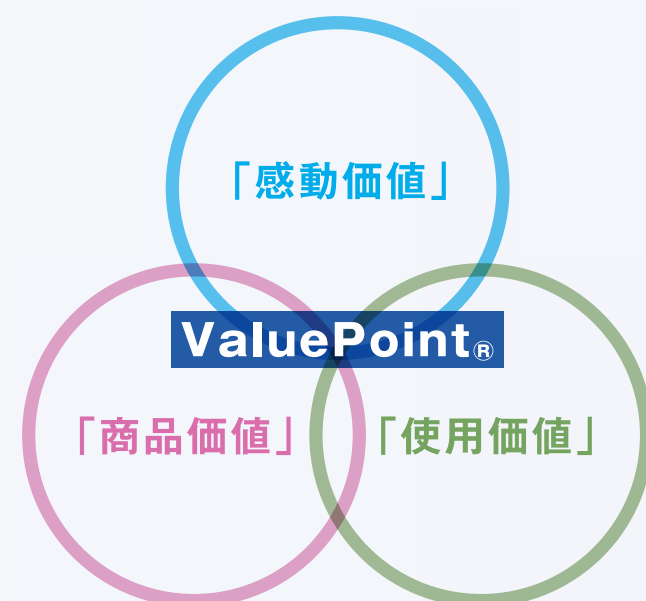
ゼビオグループは、スポーツが持つ魅力と価値を最大限拡大・深耕を図ることで、グループの価値領域を最大化していきます。そして、お客様とのValue Point® を通じて、スポーツの価値を提供し続けるオンリーワン企業をグループビジョンとして掲げています。「スポーツ」を基点にして様々な業種・業態と協働し、「スポーツの新しい価値」を一人でも多くの方々に提案し、スポーツ業界のビジネスモデルを変革させていきます。

当社が認識する課題

- ・消費動向の変化
- ・個人消費の低迷
- ・健康志向の高まり
- ・パーソナルスポーツに関心が高まる
- ・少子高齢化、人口減による市場縮小
- ・異業種の参入
- ・EC市場の拡大

ビジネスモデル

「お客様第一主義」



スポーツナビゲーター®

ガバナンス体制

社会に創出する価値

THE SUPER XEBIO SPORTS

XEBIO SPORTS EXPRESS

Victoria

L-Breath
feel the earth, open-air sports

Victoria Golf

NEXAS
ネクサス by Takeda Sports

Takeda Sports

GOLF PARTNER

グループ総売上高
2022年度3月期
2,232億円

グループ店舗数
2022年3月31日現在
899店

売場総面積
2022年度3月期
200,527坪

私たちの想い

We are sports navigators!

店舗において、一番魅力的な存在は商品ではありません。その商品一つひとつの価値を提案し販売できる販売スタッフの存在こそ、最も魅力的でなければならないのです。販売スタッフは単なる販売員ではなく、あらゆることをナビゲートできる人財という意味を込めて“スポーツナビゲーター®”と命名しています。商品の使い方はもちろん、スポーツすることの「感動」をお客様と共有し、常に期待を超える接客を心掛けております。

価値の創出

- ・地域に根ざす
- ・スポーツとの接点を増やす
- ・ビジネスモデルの差別化
- ・新しいスポーツビジネスのありかた

私たちのミッション

人種や言語、宗教、国籍さらには年齢や性別を超えて、スポーツがもたらす感動は、あらゆるスポーツが持っている素晴らしい可能性であり、それはいわば私たち人類の財産だと言っても過言ではありません。そんなスポーツの可能性を最大限に引き出し、それをビジネスとして価値に変えていくこと。それが私たちゼビオグループの今後の使命だと考えています。

グループステートメント

「ここを動かすスポーツ」
「スポーツの国をつくろう」
「スポーツで叶える」

ここを動かすスポーツ。

XEBIO GROUP



What we aim for

XEBIO Group will maximize our value to expand and explore the appeal and potential of sports. Through the “VALUE POINT® ” with our customers, we commit to the Group vision as “one-of-a-kind company” to provide the value of sports. On the basis of “sports”, we cooperate with various industries and businesses, offer “new value of sports” to as many people as possible, and innovate the business model of the industry.

2030年に向けて、 そしてその先へ。

世代を超えて、国境を越えて、言葉を越えて、感動というかけがえのない感情を共有できる「スポーツ」。
私たちゼビオグループは3つの価値をご提案します。

「商品価値」、「使用価値」、「感動価値」それぞれの価値やご提案の中でスポーツの持つ可能性を追求し、
その価値の最大化に取り組み、みなさまの夢を叶えるお手伝いが我々のビジョンであると考えています。

スポーツを楽しむすべての人へ。

スポーツによって非日常体験をテーマにした店舗は、お客様にワクワクしてご来店いただくために、店内には往年の名選手たちのユニフォームやサインが入った用具が並び「スポーツの殿堂」などの演出とともに、圧倒的な品揃えと常に変化する売り場構成により、毎回訪れるたびに違う発見ができる空間づくりを行っています。

この中で、スポーツの楽しさを伝え、スポーツに大きな目標や夢を抱くことの大切さ、そしてスポーツを通して親から子へ大切な想いをつなぐ橋渡しとなるような「心が躍る」「会話が弾む」「感動体験が得られる」、何度でも訪れたい場所となることを目指しています。

また、通勤や通学、何気ない日常生活の合間などに、ふと「スポーツをしたい」と思った時、すぐに立ち寄っていただける身近な場所にも店舗を設けることで、お客様の熱い気持ちやモチベーションをサポートし、都心部では、エキナカやエキチカなど「駅」を中心として毎日多くの人が行き交う場所に「スポーツカジュアル」を中心とした品揃えの店舗を

出店。スポーツに対する幅広い客層をターゲットにした売場構成を行い、お客様のすぐ近くで夢の実現に向けたサポートをしたいと考えています。



2030 and beyond

The values of sports can be experienced and shared regardless of language, age, nationality or ethnicity.

XEBIO Group strives to provide three distinct values:

1) Product Value 2) Use Value 3) Emotional Value

It is our mission to continue providing the opportunities of sports and maximize three values in order to further support our customers to attain their goals and dreams.

地域を知り、根ざし、そして応える。

それぞれの地域特性に合わせたマーチャндаイジングを実現し、全国どこであってもその地域に愛される店づくりを行っていくことがオンリーワン企業を目指すゼビオグループの役割であると考えています。そのため、人口が多く情報発信力もある首都圏店舗では、実際にアスリートとして活躍する選手や販売のプロが店舗に立つことにより、そこで得たさまざまな最新情報を共有し、売り場づくりなど地方店舗にも即座に波及できる体制を整えています。

一方、地方では、店舗そのものがより深く地域に根ざす身近な存在となり、きめ細やかでスピーディにニーズにお応えできる運営を行っています。首都圏でも地方でも、



Understanding the community, developing the roots and responding to the needs

Each of our store's product line up is tailored to fit the needs of local regions and we continually strive to be chosen by the people of that community. Stores in more populated metropolitan areas deliver more specific categories of products and services while stores in suburban regions have an operation system to adjust and adapt to the community's specific needs. XEBIO Group's portfolios of retail store brands are carefully positioned to answer to various environments and needs.

「接点」を増やし、 ビジネスモデルの差別化を推進。



ゼビオグループは、一つの店舗の中で、お客様との「接点」を長く持ち続けることを強みとしています。それは、「スポーツナビゲーター[®]」と呼ばれる仲間の存在です。スポーツナビゲーター[®]は、初めてスポーツに触れる方から、さらなるレベルアップを目指すプレーヤーに至るまで、お客様との接点から「商品価値」「使用価値」「感動価値」の3つのバリューポイント[®]を提供しています。私たちは、「気持ちよく買い物ができた。また遊びに行きたい」と、スポーツをより身近に、より安心して、誰でも楽しんでいただけることを最大の喜びとして、スポーツ用品の定義を拡張し、スポーツ周辺を充実させる領域の最大

化を推進しながら、スポーツを取り込んだ新たなライフスタイルの提案を目指しています。

ゼビオグループでは、スポーツと親和性のあるカテゴリーを事業や自社ブランドとして展開することにより、モノを買った後の悩みについて「コト軸」を中心にお客様のスポーツライフを総合的にサポートしています。「健康」や「未病」を目的に拡大するスポーツ人口への対応をはじめ、スポーツをする人の「より楽しく、より快適に」という想いに合致したモノからコト軸へのシフトは、ご購入いただいた商品に関する悩みなどを解決した上で、さらに新たなニーズを発掘することにもつながります。



Increasing communication with our customers and differentiating our business model.

Each person in XEBIO Group is a Sports Navigator[®]. Each Sports Navigator increases each connection with our customers and guides their sports endeavors whether they are just beginning their challenge or they are pursuing competition at a high level. The Sports Navigators focus on how our products and services deliver the solution and important value gained through sports.



新たなスポーツビジネスを創造し、 価値の最大化を目指す。

ゼビオグループでは、様々なスポーツカテゴリーにおいて、常に新たなスポーツビジネスのありかたを追求しています。

ゴルフカテゴリーにおいては、プラットフォームの構築により、お客様に快適なゴルフライフとゴルフを通じた豊かなライフスタイルの提案を掲げています。そして、新品のゴルフクラブ販売、中古クラブの買取り及び販売、練習場経営やゴルフレッスンの展開、ゴルフ場予約サイト運営など、グループにしかない独自のゴルフビジネスネットワークを生かし、多角的にゴルフプレーヤーとの「接点」を持ち続けることを目指しています。

競技自体の魅力はもちろん、伝統やルール、礼儀といった教育的要素も含まれることから、永続的に多くのことが

学べるゴルフは、老若男女問わず楽しんでプレーできる生涯スポーツです。私たちは「子どもから高齢者まですべての層にアプローチできる強み」「初心者からアスリートまで競技レベルに関係なくサポートできる体制」そして「地方や首都圏など地域特性に特化した店舗によるきめ細やかな対応と運営」という3つを軸に、ゴルフの魅力や素晴らしさを伝える役割を担っています。

ゴルフなどのスポーツの可能性を追求し、小売りにとどまらず、上達やスポーツ観戦の環境も提供しながら、今後シュリンクへ向かうと言われているゴルフマーケットの価値を最大化することで、今後の新しいスポーツビジネスのありかたにチャレンジしています。



Envisioning new sports businesses and maximizing its value.

XEBIO Group continues to innovate the sports businesses industry and develop new norms. Our golf category has created a full support model in which customers can buy new or used products, trade in old golf clubs for cash or credit, obtain golf information as well as receive personal lessons at one of our golf ranges. In these ways, we strive to create and grow the various Value Points we provide to each of our customers.

スポーツで叶える。

私たちゼビオグループは創業当初、紳士服小売としてその歩みをスタートさせました。その後時代の変化とともに、カジュアル衣料、スポーツ用品へと業態を転換し、持続的な成長を遂げてきました。2002年以降には、多くの変革を経ながら、経営資源をスポーツ事業へ集中させていくとともに、「ヴィクトリア」や「ゴルフパートナー」をグループに招き入れるなど、市場を面で捉えた事業の拡大に努め、その後、スポーツ周辺事業への取り組みを通じ、「スポーツ」を基軸に立体的にその活動領域を拡大し続けてきました。

これらの変遷を通じ、現在ゼビオグループは、中長期的にグループ事業基盤の柱となる小売り事業について業態の進化を図りながら、地域に根つき愛される店舗づくりを推進していきます。

デジタルコンテンツがスポーツの可能性を拡大させる

中長期的経営戦略の基盤となるプラットフォームはお客様の「買う」機会の接点を構築するだけではありません。ITやその他テクノロジーの進化に伴い、デジタルがスポーツの可能性を大きく拡大させています。「スポーツ動画配信サービス」、「eスポーツ」、「スコアのデータ可視化」、「メディアの多様化」。この新たなデジタルコンテンツの出現によるスポーツへの可能性拡大は私たちにとって大きな機会となり、スポーツを「知る」「する」といった新たな価値の創出につながります。リアル店舗を持つ小売業であることを強みに、デジタルコンテンツとの融和性を高め、これからもお客様満足度向上に努めます。

高齢化・多様化がもたらす機会

スポーツは健康社会の実現に大きく貢献することができます。高齢化社会の影響が問題提起され、健康を望む人が増えている今、多くの人にとってスポーツは、身近に楽しめるものになってきています。この大きな変化をビジネスの機会が広がる好機ととらえ、異業種や各種スポーツ団体、地域と連携して、スポーツの可能性を最大限に引き出すことが重要となってきます。これらの事業活動を通じて、スポーツビジネスとしての価値を最大化させ、その結果としてスポーツの健全で持続的な発展に貢献していきます。

2030年とその先に向けて。
ITやその他テクノロジーの発展による人的労働の自動化、世界的M&Aの拡大、人口動態の急速な変化など、私たちを取り巻く世界環境は常に変化をしています。これからもスポーツを軸にさまざまな事業を発展させ、多くの人がスポーツによってこころが動く未来を、スポーツで叶えることができる社会の実現を目指します。

Fulfill through Sports

XEBIO Group started from one tailored suits retail store. Through the years, our business transformed to a casual lifestyle apparel retail company and now to a sports equipment and apparel retail company. In 2002, while shifting the core retail business to sports, Victoria and Golf Partner were added to the Group. We continue to innovate our business with the same philosophy

of our founders while adapting to the changing environment. As our environment is changing rapidly, we will continue to create new businesses with a focus on sports in order to realize a society where many people are moved by sports and can fulfill their goal and dreams through sports.

スポーツで貢献する

私たちの考えるCSR活動とは、スポーツが持つ「夢」や「感動」を次世代にお伝えし、希望に満ちた明るい未来を構築していくことだと考えています。

スポーツの可能性を信じ、スポーツによって私たちが住むこの国を元気に、豊かにしていきたい。ゼビオグループは、いちばんスポーツに近い場所で今の気持ちを忘れずに、スポーツを応援する今日を築いていきます。

「ここを動かすスポーツ。」

このステートメントにもあるように、私たちは事業を通じて、一人でも多くのお客様にここを動かす体験や機会を創出しています。私たちにとって当たり前のようなひとつひとつの行動はスポーツ産業・業界全体のみならず、私たちが住んでいる地域全体をも活性化させることが出来る力を持っています。

スポーツの形は、「見る・応援する」「ファッション」「コミュニティ」「教育」「健康維持・促進」などさまざまです。ゼビオグループが有するアセットを活かし、各団体等と連携を図りながら、次世代を担う子どもたちに夢や感動を与え、明るい社会づくりを目指し、これからも活動を推進していきます。

スポーツが平和の象徴であり、今後もスポーツがあって当たり前と、素直に思えますように。

憧れの選手と共に夢の舞台へ

スポーツは、挨拶、礼儀作法や「悔しさ」「勝利への喜び」「協調性」「コミュニケーション力」「競争力」「目標設定」など、人間の成長段階で必要とされる経験を子どもたちに寄与できるものと考えています。ゼビオグループでは、子どもたちの夢や感動をサポートし、将来を担う子ども達の育成に貢献できるよう、活動を推進していきます。

地域に根差す企業としてゼビオグループは、スポーツを通じたコミュニケーションの場を提供すると共に、競技技術向上と競技人口拡大、青少年の健全育成等に役立ちたいと考え、バスケット・ゴルフ・テニス・野球・フットサルをはじめとして、全国各地で様々な競技の大会やイベントのサポートを行っています。スポーツの振興、健康で豊かな社会の構築、スポーツの底辺拡大を目指し、今後もこの取り組みを継続していきます。



Nurture by Sports

XEBIO Group engages in sports related businesses and believes in the endless possibilities that sports can provide. Our purpose is to create opportunities for people to enjoy sports as something "close to their heart" and to create a vibrant society by actively promoting sporting events and activities.

- ・Creating a platform for current and future athletes by supporting sporting events in various regions.
- ・Collaborating together with the UNITED SPORTS FOUNDATION to provide opportunities for children to experience sports.
- ・Leading various outdoor events to promote the importance of getting outside and moving the body.
- ・Making each of our stores a hub in the local community which promotes the healthy development of people.



One world. One team.

本業である「スポーツ」を軸に、スポーツの文化振興や将来を担う子どもたちへの育成支援を、一般社団法人ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーションと協働しながら活動に取り組んでいます。近年では少子高齢化とともに身体を動かす機会の減少から子どもたちの体力低下が示唆されています。トップアスリートの直接指導や様々なスポーツを体験し、競技の多様性に触れることで自身の能力や興味、スポーツへの関心を持つことへ繋がります。スポーツ普及振興のみならず教育的視点からスポーツの持つ力を活用し、健全な社会の醸成に貢献していきます。

自然とスポーツの関わり

毎年1月には、都内で子どもたち向けに雪遊びが体験できる機会を提供しています。冬のスポーツでは楽しさだけではなく、自然の中にある命の温もりや自然の雄大さを肌で感じる事が出来ると考え、このような地域のイベントにも積極的にサポートをしています。

また、ゴミ拾いをしながら歩くエコトレッキングツアーを富士山麓で毎年行っており、山の偉大さと自然への尊敬、感謝の念をトレッキングを通じて実感していただいています。自然とスポーツとのかかわりの中で貴重な経験は、すべてのひとの成長に大きく寄与すると考え、自然の中で環境保全を学ぶ機会を創り続けていきます。



地域に愛される店舗づくり

地域とともに歩む店舗運営をめざし、未来ある多くの子どもたちが安心して安全な環境の中で、すくすくと心身ともに成長できるよう活動が続けていきます。子どもたちの笑顔がますます増えることを願い、人間と自然が共生する環境づくり、各地域の魅力と誇りを再認識し、そして発信していくことが私たちの社会貢献と捉え、今後も発展的活動と地域の活性化に努めていきます。

「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサルなものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。ゼビオグループでは、企業理念のもとで未来を見据えた経営活動に取り組んでいく中、SDGsを意識した活動を通して、社会的責任を果たしながら目標達成に貢献していきます。



コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

企業の経営環境が大きく変化し、従来型の経営手法ではグローバル化した環境変化には対応できない中で継続的に企業価値を高めていくために当社は、コーポレート・ガバナンスが重要な経営課題であり、また、企業活動を牽制する仕組みであると認識しています。このような中で、当社は当時としていち早く取締役会と執行役員制度を導入しました。社長、取締役、監査役を中心とする相互監視ならびに社外取締役、社外監査役の選任によって、経営の透明性、法令遵守、説明責任を確保しています。

また、経営の中立性・客観性の確保及び一般株主の保護の強化を目的とし、社外役員の中より3名を独立役員として選任しております。これらにより当社は経営組織の改革に対して継続的に取り組み、コーポレート・ガバナンスの強化を進めていきます。

コーポレート・ガバナンスに関する 施策の実施状況

1 会社の機関の内容及び内部統制システムの整備状況等

当社は2015年10月1日より純粋持株会社体制に移行しました。持株会社の傘下には、6社の中核子会社(グループ内子会社群を機能別にグルーピングしたチームのHQとしてチーム内のその他子会社に関する管理責任と権限を有する)を配置し、グループシナジーの醸成とグループガバナンスの強化を果たす体制を採用しています。

2 リスク管理体制の整備状況

リスク管理体制は、財務面については会計監査人や社外監査役等において定期的に監査が行われ、法務面については社外弁護士から適宜助言・指導を頂いています。また、コンプライアンスについても、役員・全従業員による法令・社内ルール・倫理規範の遵守徹底を図るための社内体制整備に注力しています。

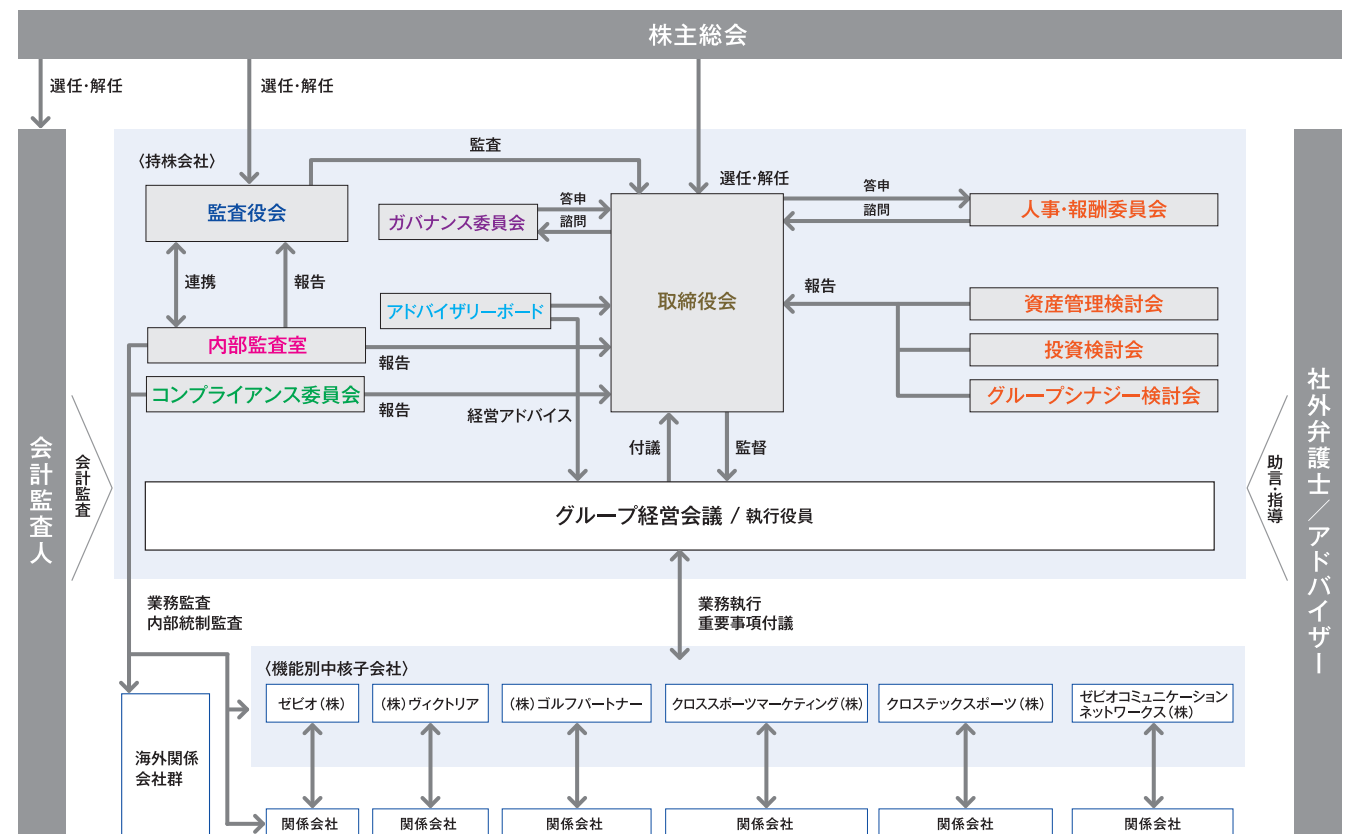
Basic concept of corporate governance

In a world where the business environment is changing rapidly and conventional management approaches fail to meet changes in the global economy, XEBIO Group recognizes that corporate governance is an important management challenge and its system plays a major role in controlling business activities for raising corporate value. Against this background, we are ensuring the transparency of corporate management, legal compliance, and accountability through conducting mutual surveillance mainly by the president, directors of the board, auditors and through the appointment of external directors and auditors. Also, to ensure the neutrality and objectivity of management and strengthen the protection of general shareholders, we have appointed three external directors as an independent director from among the external directors. We are committed, by taking these actions, to continuously innovating the company's management systems and strengthening corporate governance practices.

1 Company organization and development of internal control system

XEBIO Group transformed itself into a pure holding company in October 2015. Under the umbrella of the holding company, six core Group companies (which were established by grouping XEBIO Group companies according to their functions, and each of which has the responsibility and authority to control its subsidiaries under its umbrella as the headquarters of the team) are located to promote Group synergy and strengthen Group governance.

コーポレート・ガバナンス体制図



取締役会と執行役員制度

2022年6月29日現在、取締役会には取締役6名(うち社外取締役4名)で構成され、経営の管理・監督と業務執行の明確な分離及び迅速な意思決定と責任の明確化を推し進めるべく、執行役員制度を導入しています。なお取締役には社外の有識者を選任し、執行役員には、グループガバナンス強化の観点より、中核子会社の執行権限と、責任を担う中核子会社社長を中心に選任しています。経営の基本方針に関する重要事項を検討する機関といたしましては、取締役及び執行役員が構成メンバーになっている「グループ経営会議」を定期的に開催しています。なお、取締役の任期につきましては1年とし、経営責任をより明確にしています。

監査役会

当社は、監査役会設置会社です。監査役会は、社外監査役2名（財務、税務の専門家）と1名の常勤監査役が、それぞれの立場から取締役を監視・監査しています。また、内部監査室と毎月報告会を開催し、相互連携を図っています。会計監査は、有限責任監査法人トーマツが会計監査業務を担っています。内部監査室、監査役及び会計監査人は、それぞれの間で定期的な連絡会を開催して報告を受けるなど連携を密にし、監査の有効性と効率性の向上に努めています。また、後述の各委員会の設置による経営への牽制機能により、監査役会設置会社でありながら、指名委員会等設置会社の仕組みを加え、当社にとって最適なガバナンス体制を構築しています。

ガバナンス委員会

グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上に重要な事項について、実効性のある議論を行う場として、代表取締役と独立社外取締役及び独立社外監査役で構成される諮問機関として設置しています。

各種検討会

取締役会に付議する重要案件を精査・検討する機関として社外取締役を加え、透明性と客観性を担保した「投資検討会」「人事・報酬委員会」「資産管理検討会」、「グループシナジー検討会」を設置しています。

アドバイザリーボード

当社グループの中期ビジョン達成に向けての経営課題、コーポレートガバナンス、当社グループが解決していきたい社会的課題への取り組みやその方向性について、幅広い見識を持つ社外の有識者から意見をいただくことを目的として設置しています。

コンプライアンス委員会

各会社に設置しているコンプライアンス推進機関を総括的に管理し、各社状況の確認と指導、並びに各会社で発生する事例を共有することで、グループ全体として更なるコンプライアンスの推進を担うことを目的として設置しています。

内部監査室

内部監査は、内部監査室を設置し室長以下スタッフが全てのグループ内関係会社の業務・内部統制監査を実施し、監査役とともにリスク管理とコンプライアンスの徹底・指導強化に努めています。

2 Development of the risk management system

Our risk management system operates in two areas. In the financial area, auditing is implemented on a regular basis by accounting auditors, external auditors and other qualified persons, and, in the legal area, external attorneys give us timely advice and guidance. Further, our compliance program ensures that all directors of the board and employees thoroughly comply with all laws and regulations, binding corporate rules and ethical codes of conduct.

XEBIO Group's corporate governance structure is composed of the board of directors, the corporate officer system, the board of corporate auditors, governance committee, compliance committee, internal auditing department, the advisory board, and project teams.

ゼビオホールディングス株式会社

商 号	ゼビオホールディングス株式会社 (XEBIO Holdings Co., Ltd.)	東京オフィス	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14階
本社所在地	〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35	電 話	024-938-1111 (代表)
		U R L	http://www.xebio.co.jp/

ゼビオ株式会社

大型総合スポーツリテール「スーパースポーツゼビオ」を全国で展開。
圧倒的な売場面積にビギナーから上級者向けまで、豊富な品揃えをご用意。
加えてスポーツメカネ専門店やスポーツドラッグストアも構え、
スポーツを楽しむ方を総合的にサポート。

商 号	ゼビオ株式会社 (XEBIO Co., Ltd.)
東京オフィス	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14階
本社所在地	〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35
事業内容	スポーツ用品・用具、紳士・婦人・子供服の販売
電 話	028-624-5134 (代表)
U R L	http://www.supersports.co.jp/

株式会社ヴィクトリア

首都圏及び特定商圏に特化した総合スポーツリテール。
世の中のトレンドをいち早く感知し、
グループ店舗へ伝達するトレンドリーダー。

商 号	株式会社ヴィクトリア (Victoria Co., Ltd.)
本社所在地	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2丁目4-14 フィールドクレストビル6階
事業内容	スポーツ用品販売
電 話	03-5282-7700 (代表)
U R L	http://www.victoria.co.jp/

株式会社ゴルフパートナー

中古ゴルフ事業、ゴルフ練習場事業を全国で展開。
中古ゴルフショップ「ゴルフパートナー」は、直営のみならず
フランチャイズでも展開し、中古ゴルフ市場では圧倒的なシェアを誇る。

商 号	株式会社ゴルフパートナー (GOLF Partner Co., Ltd.)
本社所在地	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア13階
事業内容	総合ゴルフショップ「ゴルフパートナー」 フランチャイズチェーン事業、「フェスティバルゴルフ」事業、 練習場事業
電 話	03-5217-9700 (代表)
U R L	http://www.golfpartner.co.jp/

クロススポーツマーケティング株式会社

グループのマーケティングエージェントの立場として、
販促・広報活動でグループを牽引。
ゼビオグループのスポーツ振興活動や
社会貢献活動において、中心的役割を担う。

商 号	クロススポーツマーケティング株式会社 (Xross Sports Marketing Co., Ltd.)
本社所在地	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14階
事業内容	マーケティング事業、リサーチ・コンサルティング事業、 イベント・プロモーション事業、プロパティ管理事業
電 話	03-5282-7655 (代表)
U R L	http://www.xsmktg.com/

クロステックススポーツ株式会社

ゼビオグループのなかで、海外窓口業務、R&D業務を担当。
グループとして新たな試みに取り組む際のブレイン機能の一翼を担う。

商 号	クロステックススポーツ株式会社 (Cross Tech Sports Co., Ltd.)
東京オフィス	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア2階
本社所在地	〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35
事業内容	海外窓口業務、R&D業務
電 話	03-3294-7351 (代表)

ゼビオコミュニケーションネットワークス株式会社

インターネットを活用したスポーツ関連サービス事業、
ECサイト管理運営事業、ゴルフ場予約サービス事業。

商 号	ゼビオコミュニケーションネットワークス株式会社 (Xebio Communication Networks Co., Ltd.)
本社所在地	〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-7
東京オフィス	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-4-2 御茶ノ水三四ビル
事業内容	インターネットビジネス全般
電 話	024-927-7715 (代表)

主な連結子会社

サービス事業
■ゼビオカード株式会社 クレジットカード事業、割賦販売事業、損害保険・生命保険総合代理店 http://www.xebiocard.co.jp/
スポーツ関連事業
■東北アイスホッケークラブ株式会社 プロスポーツチーム運営 (東北フリーブレイズ) http://www.freeblades.jp/
その他事業
■ゼビオナビゲーターズネットワーク株式会社 販売業務請負業、人材育成事業、人材派遣事業



取締役及び監査役 / Directors & Corporate Auditors

代表取締役 諸橋 友良 President Tomoyoshi Morohashi	取締役 北澤 猛 Director Takeshi Kitazawa	社外取締役 ^{※1} 谷代 正毅 External Director ^{*1} Masatake Yashiro	社外取締役 ^{※1} 石綿 学 External Director ^{*1} Gaku Ishiwata	社外取締役 ^{※1} 太田 道彦 External Director ^{*1} Michihiko Ota
社外取締役 ^{※1} 岩本 保 External Director ^{*1} Tamotsu Iwamoto	社外監査役 ^{※2} 千川 勇一 External Corporate Auditor ^{*2} Yuuichi Hoshikawa	社外監査役 ^{※2} 小谷野 幹雄 External Corporate Auditor ^{*2} Mikio Koyano	社外監査役 ^{※2} 菅野 仁 External Corporate Auditor ^{*2} Hitoshi Kanno	

※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役 *1 External director as stipulated in Article 2 Paragraph 15 of the Companies Act
※2 会社法第2条第16号に定める社外監査役 *2 External corporate auditor as stipulated in Article 2 Paragraph 16 of the Companies Act

執行役員 / Corporate Officers

副社長執行役員 クロススポーツマーケティング株式会社代表取締役社長 中村 考昭 Vice President, Corporate Officer, and President, Xross Sports Marketing Co., Ltd. Takaaki Nakamura	副社長執行役員 ゼビオコミュニケーションネットワークス株式会社 代表取締役社長 島貫 慶太 Vice President, Corporate Officer and President, Xebio Communication Networks Co., Ltd. Keita Shimanuki	執行役員 株式会社ヴィクトリア 代表取締役カンパニープレジデント 藤澤 剛 Corporate Officer and President, Xebio Corporate Co., Ltd. Tsuyoshi Fujisawa	執行役員 株式会社ゴルフパートナー代表取締役社長 石田 純哉 Corporate Officer and President, Golf Partner Co., Ltd. Junya Ishida
執行役員 クロステックススポーツ株式会社代表取締役社長 村井 宏行 Corporate Officer and President, Cross Tech Sports Co., Ltd. Hiroyuki Murai	執行役員 ゼビオコーポレート株式会社取締役副社長 中村 和彦 Corporate Officer and Vice President, Xebio Corporate Co., Ltd. Kazuhiko Nakamura		

1970年～

1973年 7月

紳士服販売を目的として、福島県いわき市に株式会社サンスーツを設立。



1979年 8月

株式会社サンキョウに商号を変更し、本店を福島県郡山市に移転。

1990年～

1990年 5月

東京証券取引所市場第二部に上場。

1992年 10月

本宮物流センター竣工。

1992年 12月

郊外型大型複合店「スーパースポーツゼビオ仙台泉中央店（1フロア1,000坪）」を宮城県仙台市に出店。

1995年 9月

東京証券取引所市場第一部に指定替。

1996年 6月

英国の製造小売りチェーン「ネクスト社」と業務提携契約を締結。

2010年～

2010年 6月

日本最大級の体験型スポーツモール「スーパースポーツゼビオドームつくば学園東大通り店」を茨城県土浦市に出店。



2011年 5月

クロススポーツマーケティング株式会社を設立。

2012年 2月

中華人民共和国上海市に賽標(中国)体育用品有限公司を設立。

2012年 4月

大韓民国ソウル市に株式会社ゼビオコリアを設立。

2012年 6月

海外第1号店「スーパースポーツゼビオ上海浦東店」を中華人民共和国上海市に出店。

1979年 11月

福島市の旧長崎屋ビルにファッション&スポーツをテーマとした当社初的大型店を出店。

1983年 11月

郊外型スポーツ店の「トップスポーツ並木店」を郡山市に出店。

1984年 10月

郊外型メンズ店の「サンキョウ安積店」を郡山市に出店。

1985年 11月

郊外型カジュアル単独店の「メンズキャバ桑野店」を郡山市に出店。

1999年 11月

国内最大級の売場面積（約2,500坪）を持ち自然をテーマにした「スーパースポーツゼビオドーム札幌月寒店」を北海道札幌市に出店。

2002年 3月

ゼビー業態を廃止し、スポーツ業態へ統合。

2004年 7月

ゼビオビジネスサービス株式会社を設立（現・ゼビオコーポレート株式会社）

2005年 4月

株式会社ヴィクトリアの株式を100%取得、子会社化。

2013年 3月

海外第2号店「スーパースポーツゼビオソウルウルチロ店」を大韓民国ソウル市に出店。

2013年 12月

株式会社ネクサス設立。
（現 株式会社ヴィクトリア ネクサスカンパニー）
北東北で総合スポーツ専門店として展開していた株式会社タケダスポーツから23店舗の営業譲りを受ける。

2015年 10月

純粋持株会社体制へ移行。
ゼビオホールディングス株式会社のもとに中核会社6社を配置。

2016年 2月

日本初のPGA TOUR公認ゴルフショップを出店。

2018年 4月

株式会社ゼビオコリアを株式会社ゴルフパートナーコリアに商号変更。

2018年 5月

ゴルフパートナー韓国1号店「ゴルフパートナー ウィレ新都市店」出店。

1987年 11月

ゼビオ株式会社へ商号を変更。

1988年 4月

社団法人日本証券業協会東京地区協会に店頭登録。

1988年 7月

福島県郡山市朝日三丁目7番35号に新本社屋を竣工。

2005年 8月

ゼビオインシュアランスサービス株式会社を設立。

2006年 6月

ゼビオカード株式会社を設立。

2008年 7月

ゼビオナビゲーターズネットワーク株式会社を設立。

2008年 10月

株式会社ゴルフパートナーの株式を公開買付けにより取得し、子会社化。

2009年 4月

株式会社ゴルフパートナーを簡易株式交換により完全子会社化。

2018年 9月

スーパースポーツゼビオ「渋谷公園通り店」出店。

2018年 11月

スーパースポーツゼビオ「ダイバーシティ東京プラザ店（エルプレス併設）」出店。

2019年 12月

静岡県および神奈川県内でスポーツ用品店などを展開する「シラトリグループ」と業務提携に係る基本合意書を締結。

2020年 3月

ゼビオインシュアランス株式会社をゼビオカード株式会社へ吸収合併。

2020年 5月

国土観光株式会社をクロスアライアンス株式会社に商号変更。

2020年 12月

東京ヴェルディ株式会社の株式を取得し、連結子会社とする。

2021年 10月

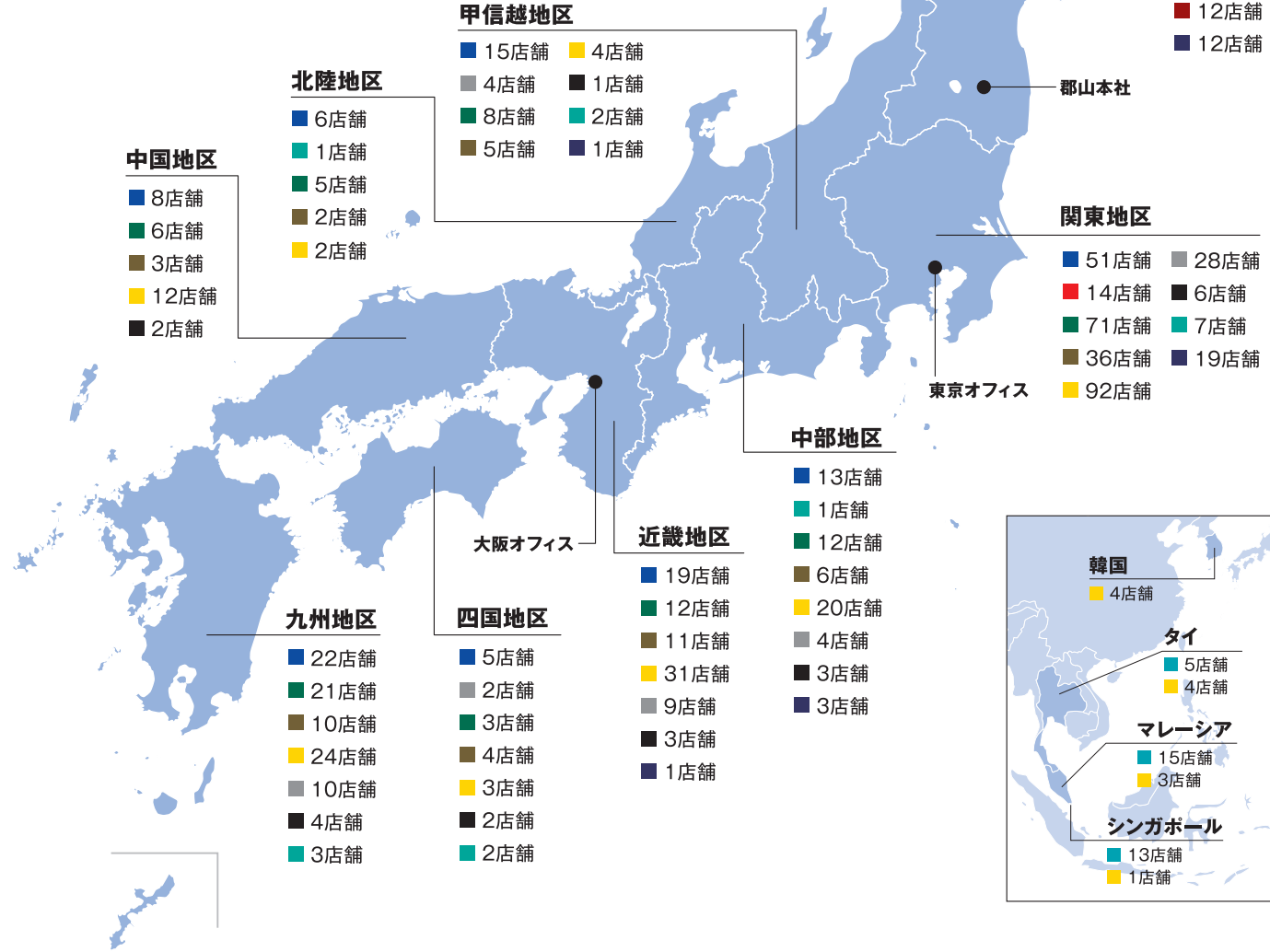
株式会社バステルをゼビオ株式会社へ吸収合併。

ゼビオグループ 899店舗（FC除く）

2022年3月31日現在

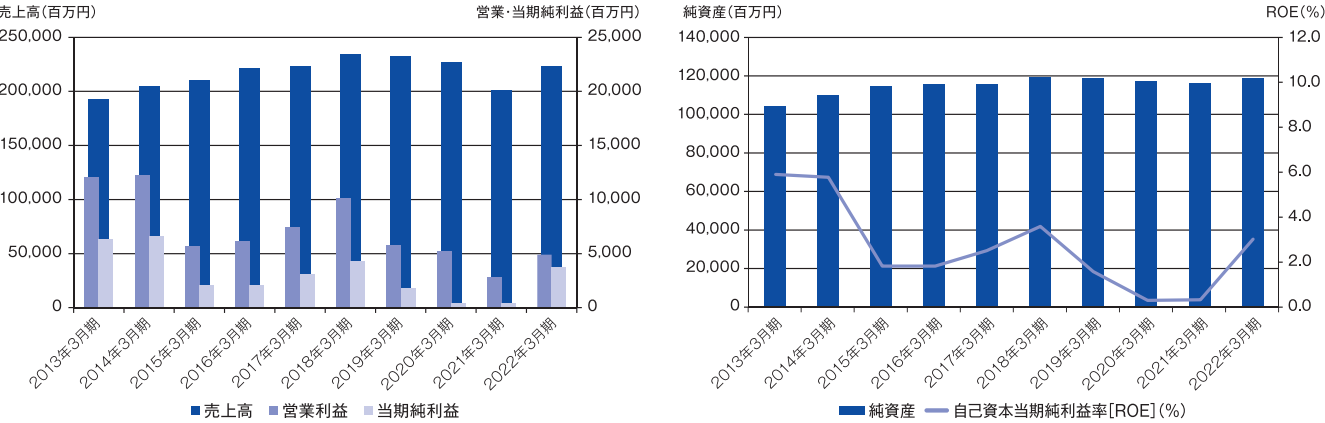
	看板	特徴	店舗数
■		あらゆるスポーツ用品・用具を取り揃えた大型総合スポーツ専門店	177
		地域特性に合わせた品揃えとサービスを展開する総合スポーツ店	
※ ■		世界36か国に700店以上を展開するイギリス最大のSPAブランド	84
	X'tyle	カジュアルスポーツウェアショップ	
■	X'tyle vision	度付レンズ対応可能なスポーツサングラスを扱うスポーツメガネ専門店	30
■	Xiasis	アスリートのコンディショニングをサポートするスポーツドラッグストア	20
■	Victoria	都市型オールスポーツショップ	14
■	Victoria Golf	幅広い方に対応できる商品ラインアップとサービスのゴルフ専門店	166
■	L-Breath	ファッション感覚にあふれたアウトドア専門店	83
■	GOLF PARTNER	中古ゴルフ業界No.1のネットワーク、55万本の在庫からびつたり1本を	227
	FESTIVAL GOLF	中古ゴルフ業界のパイオニア、豊富な在庫と安心価格	
■ ■	NEXAS タケダスポーツ	北東北で地域特性に合わせた品揃えとサービスを展開する総合スポーツ店	29
■	TRANSVIEW	東南アジアにおけるゴルフ用品専門店	33
■	その他	ファンシー小物販売店、トレーニング機器展示販売店など、その他の専門店	36

※ ルーキーUSA含む



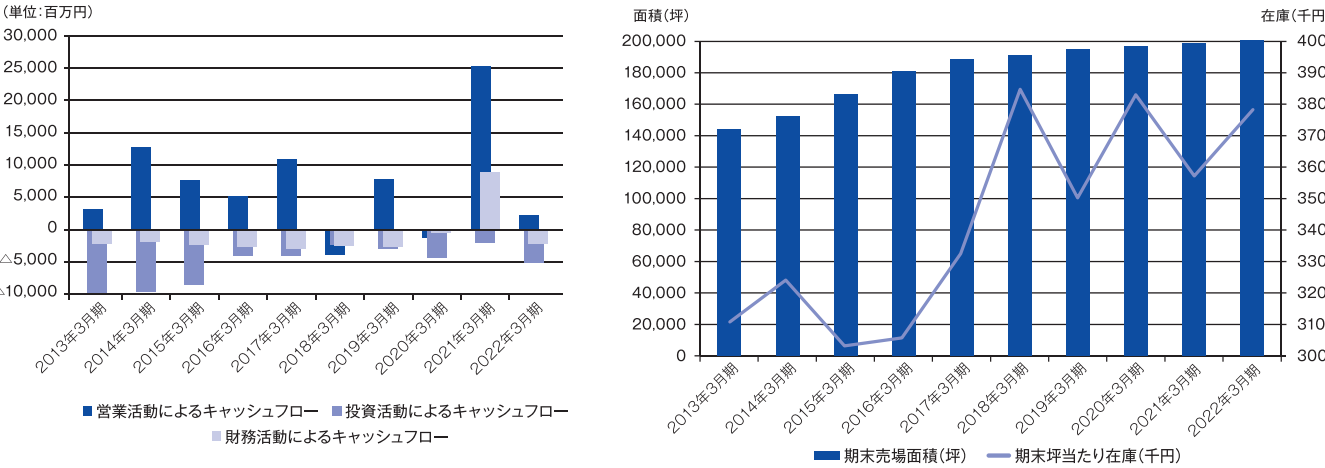
財務ハイライト

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
(単位：百万円)				
経営成績				
売上高	192,628	204,779	210,672	221,391
売上総利益	75,490	81,403	80,850	85,614
営業利益	12,042	12,295	5,654	6,169
経常利益	12,471	12,985	6,432	6,396
当期純利益	6,332	6,618	2,084	2,120
財政状況				
流動資産	94,173	106,081	105,153	106,759
有形固定資産	38,005	40,439	40,663	41,439
無形固定資産	8,132	8,037	8,233	7,706
投資その他資産	27,482	26,825	27,648	24,969
資産合計	167,793	181,383	181,698	180,875
流動負債	50,471	59,198	57,231	56,791
固定負債	7,557	7,606	8,685	8,426
純資産	109,764	114,579	115,781	115,657
キャッシュフロー				
営業活動によるキャッシュフロー	3,092	12,385	7,424	5,138
投資活動によるキャッシュフロー	△9,712	△9,552	△8,427	△3,913
財務活動によるキャッシュフロー	△2,088	△1,794	△2,293	△2,574
1株当たり情報				
1株当たり純資産 (円)	2,429.93	2,534.30	2,560.85	2,556.27
1株当たり当期純利益 (円)	140.68	146.91	46.24	46.95
1株当たり配当金 (円)	35.00	35.00	35.00	35.00
財務指標				
自己資本当期純利益率 [ROE] (%)	5.9	5.8	1.8	1.8
総資産経常利益率 [ROA] (%)	7.4	7.4	3.5	3.5
自己資本比率 (%)	65.2	63.0	63.6	63.8
その他データ				
期末売場面積 (坪)	152,453	166,168	180,796	188,755
期末坪当たり在庫 (千円)	310	324	303	305



(単位：百万円)

2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
223,353	234,595	231,629	225,312	202,438	223,282
89,171	92,761	87,896	88,727	78,820	87,053
7,428	10,921	5,766	5,247	2,767	4,999
7,499	11,389	6,725	5,842	4,342	7,851
2,991	4,249	1,884	408	412	3,836
117,908	119,932	118,104	118,397	146,628	147,012
39,391	35,853	33,857	34,316	31,899	31,891
6,470	5,627	6,181	5,035	5,327	5,495
24,973	26,718	25,912	25,172	23,626	23,908
188,744	188,131	184,054	182,921	207,482	208,308
63,761	60,349	56,982	54,980	69,793	74,684
8,203	8,099	8,591	10,689	21,336	14,915
116,779	119,682	118,481	117,251	116,353	118,708
10,444	△3,887	7,572	△ 1,305	25,369	2,235
△4,090	△2,363	△ 3,010	△ 4,299	△ 2,019	△ 5,164
△2,882	△2,427	△ 2,658	△ 418	8,511	△ 2,119
2,603.52	2,665.51	2,667.14	2,640.13	2,621.34	2,674.23
66.89	95.08	42.41	9.23	9.32	86.77
35.00	35.00	35.00	32.50	30.00	30.00
2.6	3.6	1.6	0.3	0.4	3.3
4.0	6.1	3.6	3.2	2.1	3.7
61.6	63.3	64.1	63.8	55.9	56.8
193,193	191,890	195,673	196,919	198,581	200,527
333	389	350	382	357	378



連結貸借対照表

(単位:百万円)		
	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,323	39,893
受取手形及び売掛金	21,478	22,477
営業貸付金	1,153	967
商品	71,037	75,921
未収還付法人税等	1,061	1
その他	7,973	8,043
貸倒引当金	△398	△ 292
流動資産合計	146,628	147,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	49,233	50,403
減価償却累計額	△ 35,176	△ 36,192
建物及び構築物(純額)	14,056	14,211
土地	13,852	13,910
リース資産	2,634	2,780
減価償却累計額	△ 1,041	△ 1,424
リース資産(純額)	1,592	1,356
建設仮勘定	374	75
その他	20,036	21,304
減価償却累計額	△ 18,013	△ 18,965
その他(純額)	2,023	2,339
有形固定資産合計	31,899	31,891
無形固定資産		
のれん	1,105	716
ソフトウェア	1,061	1,854
その他	3,160	2,924
無形固定資産合計	5,327	5,495
投資その他の資産		
投資有価証券	639	727
長期貸付金	37	24
繰延税金資産	4,289	4,852
差入保証金	2,156	1,851
敷金	13,929	14,142
投資不動産	3,112	3,126
減価償却累計額	△ 1,251	△ 1,276
投資不動産(純額)	1,861	1,849
退職給付に係る資産	205	139
その他	785	582
貸倒引当金	△ 278	△ 260
投資その他の資産合計	23,626	23,908
固定資産合計	60,854	61,295
資産合計	207,482	208,308

株式情報 (2022年3月31日現在)

証券コード： 8281
上場証券取引所：
東京証券取引所市場第一部

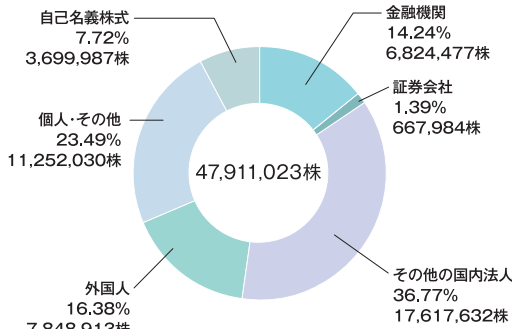
株式の状況

発行可能株式総数 135,000,000株
発行済株式の総数 47,911,023株
株主数 35,889名

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社サンピック	8,252,605	18.7
公益財団法人諸橋近代美術館	4,500,000	10.2
有限会社ティー・ティー・シー	4,121,466	9.3
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	3,496,800	7.9
諸橋 輝子	1,392,364	3.1
諸橋 友良	1,173,750	2.7
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,138,300	2.6
諸橋 寛子	900,897	2.0
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	722,921	1.6
THE BANK OF NEW YORK 133972	679,100	1.5

※1.当社は、自己株式3,699,987株を保有しており、上記の大株主から除外しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
※2.信託銀行の所有株式数には、信託業務に係る株式数が含まれております。

所有者別 株式分布状況



連結損益計算書

(単位:百万円)		
	前連結会計年度 自2020年4月1日 至2021年3月31日	当連結会計年度 自2021年4月1日 至2022年3月31日
売上高	202,438	223,282
売上原価	123,618	136,228
売上総利益	78,820	87,053
販売費及び一般管理費	76,053	82,054
営業利益	2,767	4,999
営業外収益		
受取利息	45	49
受取配当金	9	10
不動産賃貸料	734	634
為替差益	150	559
業務受託料	305	299
助成金収入	921	1,663
その他	537	677
営業外収益合計	2,704	3,893
営業外費用		
支払利息	124	120
貸倒引当金繰入額	2	—
不動産賃貸費用	519	478
業務受託費用	269	272
その他	212	171
営業外費用合計	1,129	1,041
経常利益	4,342	7,851
特別利益		
固定資産売却益	1,387	4
投資有価証券売却益	8	—
受取保険金	222	111
新株予約権戻入益	109	28
預り保証金解約益	118	—
関係会社株式売却益	—	149
特別利益合計	1,845	293
特別損失	86	—
固定資産除却損	—	290
固定資産売却損	7	17
減損損失	2,761	1,293
災害による損失	235	39
店舗閉鎖損失	1	1
投資有価証券評価損	—	149
関係会社株式売却損	—	19
賃貸借契約解約損	—	120
特別損失合計	3,092	1,930
税金等調整前当期純利益	3,095	6,214
法人税、住民税及び事業税	2,159	2,950
法人税等調整額	521	△ 588
法人税等合計	2,681	2,361
当期純利益	414	3,853
非支配株主に帰属する当期純利益	1	17
親会社株主に帰属する当期純利益	412	3,836

連結包括利益計算書

(単位:百万円)		
	前連結会計年度 自2020年4月1日 至2021年3月31日	当連結会計年度 自2021年4月1日 至2022年3月31日
当期純利益	414	3,853
その他の包括利益		
その他の有価証券評価差額金	34	21
為替換算調整勘定	△ 180	157
退職給付に係る調整額	229	43
その他の包括利益合計	83	222
包括利益	497	4,075
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	496	4,070
非支配株主に係る包括利益	1	5

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)		
	前連結会計年度 自2020年4月1日 至2021年3月31日	当連結会計年度 自2021年4月1日 至2022年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,095	6,214
減価償却費	3,879	3,803
減損損失	2,761	1,293
のれん償却額	580	444
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 147	△ 124
賞与引当金の増減額(△は減少)	217	446
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△ 418	△ 938
契約負債の増減額(△は減少)	—	873
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	28	△ 24
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△ 194	66
受取利息及び受取配当金	△ 55	△ 59
支払利息	124	120
受取保険金	△ 222	△ 111
助成金収入	△ 921	△ 1,663
固定資産売却益	△ 1,387	△ 4
新株予約権戻入益	△ 109	△ 28
預り保証金解約益	△ 118	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△ 8	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△ 130
固定資産除却損	86	290
投資有価証券評価損益(△は益)	—	149
固定資産売却損	7	17
災害による損失	235	39
賃貸借契約解約損	—	120
店舗閉鎖損失	1	1
売上債権の増減額(△は増加)	△ 1,471	△ 1,209
営業貸付金の増減額(△は増加)	355	185
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,391	△ 6,162
仕入債務の増減額(△は減少)	10,433	584
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,214	△ 2,993
その他	3,722	587
小計	27,083	1,786
利息及び配当金の受取額		
利息の支払額	△ 128	△ 117
法人税等の支払額	△ 3,291	△ 2,339
法人税等の還付額	511	1,066
保険金の受取額	218	115
助成金の受取額	921	1,663
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,369	2,235
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 2,396	△ 3,521
有形固定資産の売却による収入	2,968	26
有形固定資産の除却による支出	△ 19	△ 230
無形固定資産の取得による支出	△ 2,826	△ 1,265
投資不動産の取得による支出	△ 151	△ 8
定期預金の預入による支出	△ 10	—
定期預金の払戻による収入	20	—
投資有価証券の取得による支出	△ 20	△ 212
投資有価証券の売却による収入	23	3
敷金及び保証金の差入による支出	△ 150	△ 780
敷金及び保証金の回収による収入	906	757
預り保証金の返還による支出	△ 56	△ 28
預り保証金の受入による収入	11	30
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△ 30	—
事業譲受による支出	△ 293	—
その他	8	64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,019	△ 5,164
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 2	370
長期借入金の返済による支出	△ 74	△ 305
長期借入れによる収入	10,520	—
リース債務の返済による支出	△ 587	△ 759
自己株式の取得による支出	0	△ 0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△ 50	△ 67
配当金の支払額	△ 1,292	△ 1,356
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,511	△ 2,119
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 23	619
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	31,839	△ 4,429
現金及び現金同等物の期首残高	12,483	44,323
現金及び現金同等物の期末残高	44,323	39,893

ゼビオグループが創業から一貫して目指していることは、お客様第一主義に基づきひとりでも多くのお客様に感動価値を提供することです。時流の変化の中でも、絶えずお客様のニーズに応え続けることは、ゼビオグループの強みであり、使命であると認識しております。これからもオンリーワン企業として、お客様に寄り添って成長を続けてまいります。

情報社会の進化に伴い、お客様の周りには様々な情報が溢れています。さらに当社を取り巻く競合環境はますます激しさを増しております。異業種や海外からの参入、少子高齢化や社会情勢の変化スピードに対応することはもはや当たり前となっています。中長期的なマーケットの変貌に対応し、事業の生産性を向上していくための新たな業態開発のチャレンジ、独自性を確保するための差別化された商品開発、さらに感動価値を提供するスポーツナビゲーターの育成などを強化し、着実に推進させていきます。

昨今eコマースビジネスと言われるものが、マーケットに進出してきています。我々が持つスポーツ特有の商品価値の提供を、eコマース上でも実現できるよう、リアルとデジタルを融合した我々独自のサービスをお客様に対してご提供してまいります。さらに単なるeコマースではなく、全国の店舗網を強みとする新たなビジネスモデルの構築を行っていきたいと考えております。

環境変化のスピードは、より一層早くなっていると考えています。その変化に対応していくためにも、今後も試行錯誤を繰り返しながら、グループステートメントである「ここを動かすスポーツ。」をひとりでも多くのお客様に体験、感動価値をご提供していくことに努めてまいります。

代表取締役
諸橋 友良



Top Message

The consistent goal of XEBIO Group since its founding is to provide moving moments and values to as many customers as possible based on a customer-first principle. Recognizing and constantly responding to customer needs in the changing times is the strength and mission of XEBIO Group. We will continue to grow with our customers as the “only one” company.

Along with the evolution of the information society, there is a wealth of information available to customers. In addition, the competitive environment in our markets are becoming increasingly severe. It has become commonplace to respond to companies entering from different industries and overseas. In our core market the aging population and the changing speed of the social environment has increased. XEBIO Group will continue to innovate by responding to changes in the medium to long-term, develop new business formats to improve business productivity, differentiate product

development to ensure uniqueness, and continue to provide important Value Points through sports together with our Sports Navigators.

The E-Commerce market continues its rapid development. We will provide our customers with our unique service that combines brick and mortar stores with our digital platform so that we can provide our category-specific product value in various channels. Furthermore, we will continue to build a new business model that has strengths not only in E-Commerce but also in the nationwide store network.

We believe that the speed of the changing business environment is becoming even faster. In order to respond to such changes, we will continue to test and develop new models in the future and strive to provide to as many customers as possible our statement “Sports that Move the Heart”.